

# 課題整理総括表

利用者名 参考例 ●様

作成日 / /

自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等)		①脳梗塞後遺症で左半身不全麻痺 ④生活意欲がやや低い		②言語障害がある ⑤高齢者世帯で介護力が弱い		③両下肢筋力低下 ⑥段差の多い住環境		
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)		
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善 維持 悪化	屋内歩行はT字杖を使用。転倒り
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善 維持 悪化	スクあり見守りを要する。
食事	食事内容	支障なし	支障あり				改善 維持 悪化	屋外歩行は麻痺側介助、左へ傾き
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	やすく左下肢すり足で躓きやすい。
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし	支障あり			①③	改善 維持 悪化	排泄はPトイレ使用。座るとき妻介助
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善 維持 悪化	夜間3回、失敗もある。日中頻尿
口腔	口腔衛生	支障なし	支障あり			①	改善 維持 悪化	口腔ケア：自分ではせず妻が介助
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助	①④	改善 維持 悪化	嚥下機能低下のリスクあり。
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助	①④	改善 維持 悪化	服薬：妻が管理、手渡すと飲む。
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善 維持 悪化	入浴：DSで4回入浴、洗身全介助
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善 維持 悪化	更衣：上衣は左側介助が必要
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	妻が全て行っているが負担が大きい
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化	
コミュニケーション能力		支障なし	支障あり			②	改善 維持 悪化	言語障害がありゆっくり話す必要あり
認知		支障なし	支障あり			②④	改善 維持 悪化	軽い短期記憶障害がある
社会との関わり		支障なし	支障あり			①②③⑥	改善 維持 悪化	現在は社会との関わりは少ないが
褥瘡・皮膚の問題		支障なし	支障あり				改善 維持 悪化	昔ながらの友人は多い
行動・心理症状(BPSD)		支障なし	支障あり				改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし	支障あり			⑤	改善 維持 悪化	妻は高齢、長女は就労中
居住環境		支障なし	支障あり			⑥	改善 維持 悪化	1階のEVホールまで10段の階段あり
通院		支障なし	支障あり			①③⑥	改善 維持 悪化	

利用者及び家族の生活に対する意向	見通し ※5		生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) 【案】	※6
自宅生活を続けたい。友人と外出できるようになりたい。				
●継続して機能訓練を続けることで左下肢機能低下を防止、両上肢の機能向上が出来れば屋内外補歩行自立が期待できる、また排泄もスムーズに行えることで介助の軽減が出来る可能性がある			移動がスムーズに出来るようになり排泄が自分で出来るようになりたい	2
●言語障害は専門職の関わりや、日常から声を出す訓練や歌を歌うなどの取り組みを行うことで改善でき、生活に対しても自信を持つことが出来る可能性がある			言葉がスムーズに出るようになり生活に自信が持てるような支援を行う必要がある	3
●妻が家事や介護を担っているため、介護負担が大きい。長女の協力により役割分担をしたり、社会資源を活用することにより負担の軽減が出来る。その結果定期受診もスムーズに行える。			妻の介護力の不安を軽減し日常生活の安定と定期的な通院が出来るようにする必要がある	1
●段差解消の改修は共用部分なので困難であるが、段差の上り下りの訓練を集中的に行うことで移動の改善の可能性が有る			屋外への移動が出来るようになり生活の幅を広げたい	4
●本人が気楽につきあえる友人との関係作りを構築することで、生活への意欲を改善することが出来る可能性がある			社会参加が促進され生活に意欲が持てる支援を行う必要がある	—

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。  
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。  
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。  
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。  
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「—」印を記入。